

令和5年度第1回
横浜市バスネットワーク会議
議事録

令和5年9月4日

議事録要旨

令和5年度 第1回 横浜市バスネットワーク会議	
日時	令和5年9月4日(月) 10時00分から11時30分まで
場所	横浜市役所 18階共用会議室 みなと6-7
開催形態	対面会議
案件	青葉区・戸塚区における取組について
議事	<p style="text-align: center;">【青葉区における取組について】</p> <p>【参加員】 奈良地区においては、便数が増えること、商業施設にアクセス出来ることがメリットになっていると思います。 一方で、青葉台に近い松風台周辺はバス利用者も多いが、青56系統の直通便がなくなると、運行本数が多少減ることになるが、その対応はどうする予定か教えてください。</p> <p>【運行事業者】 利用状況を見たらうで、対応できない場合は、営業所からの出入庫便で補い、輸送力は確保する予定です。</p> <p>【参加員】 連節バス導入に伴うバスペイの工事は、すでに契約をしており、8月から工事着手しており、来年3月の完了にむけて実施中です。 住宅地内で大きなバスが走ることの周知はさせていただいているが、引き続き試走の際の周知や、スムーズな工事完了に向けてご協力をお願いいたします。</p> <p>【運行事業者】 弊社では初めての連節バスの運行となるため、乗務員の習熟の意味でも、連節バス導入当初は試走を続けなければならないと考えています。 地域に迷惑にならないよう、周知等行い、円滑に進めます。</p> <p>【座長】 ロンドンでは、連節バス（ベンツのシターロ）を運行していたが、巻込み事故が続いたため、連節バスを廃止にしています。 日本の事業者の運転技術は高いため、心配はしていませんが、慎重に進めてほしい。 特に、地域住民、自転車利用者にも慣れていただくことが大切なので、習熟運転の際は、地域全体が習熟していくよう、地域と協力した形で進めてほしいです。</p> <p>【参加員】 日体大のロータリーにおいて、混雑時の青61の停車位置から、新青56への乗継までの移動距離はどれくらいですか。</p> <p>【事務局】 100m程度です。</p>

【参加員】

長大路線の短絡化は、国交省でも推奨しているが、短絡化した駅にアクセスしないほうの路線の利便性が下がり、利用者が減ってしまう恐れがあります。

是非、利用者数など定量的な調査をしていただき、PDCA サイクルを回していただきたい。

日体大のロータリーの図を見ると、混雑時にしか、待合施設を通らないように思います。

ダイヤはこれから調整されると思うが、待合施設を利用するほどの時間が、乗継ぎ時にかからないと考えると、待合施設よりも、雨に濡れないように屋根（上屋）を付けたり、乗継ぎに迷わないような案内方法を考える方が、乗継環境の整備には良いのではないのでしょうか。そういったことに対する意見も、運行開始後、確認してほしい。

【事務局】

来年の運行開始後、モニタリング調査を予定しているので、会議の場で結果を報告します。

19 ページの図の①の乗り場には、現在も上屋がありますが、そちらを連節バスの長さに対応した仕様に東急バスが改修します。また②の乗り場にも新たに上屋を設置します。

今後の利用方法、経路の周知については、地域の意見を伺いながら、わかりやすい案内を行います。

【座長】

（路線の短絡化について）

短絡化は、歴史をたどれば、昭和 50 年代の大阪のゾーンバスから始まりますが、乗継ぎが発生することで、利用者が減るということはありませんでした。その後、オムニバスタウンが始まった後の乗継ぎには、最近のものも含め課題があります。

乗継の支線の部分の利用者が減ってしまうのは、他の場所へ行くようになったり、自動車への乗換えが考えられます。

この事業で減る兆候が見られれば、利用者がどこに行ってしまったのかという発想で、分析をしていただきたい。

ダイヤの調整で解決するのであれば、ダイヤを調整していただくのが良いが、今回は増便も行うので、単純に利用者数だけを追うのではなく、地域の人達の行動がどのように変わるのかを見てほしいです。

（待合施設について）

スケールは違うが鉄道の駅ナカビジネスは、乗り継ぎ時間を分散させている面があります。横浜市営地下鉄でも、待合室が増えたことで、すぐに電車に乗らず、そこで長い時間待っている人を多く見かけます。

所要時間を短くすることばかりを評価してきたが、そうではない場面があるということ。

日体大に待合施設が出来ることで、1 本バスを遅らせようと思う人が出てくるきっかけになるかもしれません。

また、使い方がどのように変わるのか、自動販売機を置いたり出来るのかなど、待合施設の在り方を考えるチャンスになると思います。

青葉台駅のターミナルを作った時、横断歩道に屋根をかけたたり、バスの車道部分まではみ出す屋根を付けたり、いろんなことをやっている事例なので参考にしてほしい。

すぐには出来ないと思うが、「ここで乗り継ぐことがうれしいと思えるような施設にする」といった高い目標をもって進めてほしい。

【戸塚区における取組について】

【参加員】

区役所は事業部局より地元近く、地域の意見・要望を事業部局に伝える立場にありますので、その観点から確認させていただきます。連節バスの運行開始時期については、これまで地域に「令和5年度末から」と伝えていただいていたと思うが、諸般の事情により令和6年度に変更することを、いつ頃どのように地域に伝えていただく予定ですか。

【事務局】

地域へは、これまで4回、広報紙を発行し周知しており、その都度、地域の定例会でも説明を行っています。運行開始が遅れることについても、10月に発行を予定している広報紙と、定例会での説明で周知を行う予定です。

10月に、連節バスの明確な納車時期、運行開始時期が示せる状態であれば、その詳細も伝ええます。

【参加員】

市の職員が、地域の定例会などに出て、こまめに事業の説明をすることを、地域は評価しています。こちらの事業についても、引き続き地域へ説明いただくようお願いいたします。

相鉄・東急直通線が開通したことで、戸塚区南西部の方から見ると、戸塚駅に出る選択肢に加えて、下飯田方面へ向かうことも選択肢の一つに入ってきており、下飯田方面路線の強化の要望の声も聴きます。今回増便にあたっては、現在とは違う経路を通るとのことですが、その経路は、横浜深谷台小学校前に面している道路です。新たに運行するための安全の確認、学校への周知は行っていただいていますか。

【事務局】

深谷台小学校と、学区にあたる地域へ、説明を行うとともに、スクールゾーン協議会へ資料提供を行い周知しています。

運行については、戸塚警察署との立ち合いのもと試走を行うなど、安全確認を行っております。

【座長】

こちらの経路についても、運行開始前に試走等されるのか。

【運行事業者】

運行開始前に乗務員による現地確認、実際運行する大型バスでの試走を予定しています。

試走の時期などは、広報紙等で地域へ周知します。

【参加員】

連節バスの運行経路は、国道1号があり、高速道路へ接続もしているため、交通量が多く、実勢速度が速い場合もあります。試走される際は、ご連絡いただければ出張所にも伝えます。

何かあれば対応できると思いますので、ご一報いただければと思います。

【運行事業者】

ありがとうございます。試走の際は、ご連絡させていただきます。

【参加員】

道路工事は土木事務所が監督しますので、工事箇所や工事内容については、確認させていただいておりますが、連節バスの導入や工事にあわせて、バス停の仕様やポールの位置に変更はないでしょうか。

バス停ポールについては、道路管理者が占用許可をするため、確認させてください。

【運行事業者】

現在使用しているバス停ポール等の仕様を変更することは考えていません。

交通管理者と協議を行っている中で、移設をしたほうが安全になる箇所については、地域とも調整し、移設を検討しています。車両の軌跡等確認しながら、場所が確定しましたら、個別にご相談させていただきます。

【参加員】

料金の支払い方法について、「申告先払い方式」は関東管内で採用されている路線は少なかったかと思います。また、上りと下りで支払方法が違うのは、利用者にとってわかりづらく、案内・周知の徹底が必要になると思います。混乱を招かないよう気を付けてほしいです。

【運行事業者】

既に連節バスを導入している辻堂でも、同じように支払い方式が変わる形で運用しています。戸塚区に関しては、もともと「申告先払い方式」を採用していた地域です。

連節バスについては、辻堂に続く2例目として、速達性、利便性の向上を目的に「申告先払い方式」を採用したいと考えています。広報紙等積極的に活用し、周知も行っていきます。

【座長】

上りと下りで支払方法が違うところは、それなりにあります。関東運輸局も、どこでどの支払い方式が採用されているかのデータはお持ちでないと思います。

現在、支払い方式に関する各バス会社の事情や、ビジネスモデルについて、整理がされないまま、自動運転や顔認証などの研究が進んでおり、今後、運賃の支払い方式などの整理が課題になります。今の状況を調査する必要があると考えています。

そのうえで、連節バスと大型バスで、支払い方式が変わる事による混乱はないとお考えですか。

【運行事業者】

弊社の路線ですと、支払いの9割以上がICカード化されています。乗車時にICカードをタッチしてもらう作業は、どちらの方式でも変わらないので、大きな問題にならないと考えています。

【座長】

周知の時に、支払い方式が変わっても、最初にICカードをタッチする作業は変わらないことも伝えていただくとわかりやすいと思います。よろしくお願いいたします。

以上